

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会  
ユニバーサルコミュニケーション分科会

# オープンラボセミナー 2024

2024. **9. 19** Thu

15:00 ~ 16:35

オンライン開催

一般の方もご参加いただけます

事前申込制  
定員 100名  
(先着順)

参加費無料

## 日本企業のネットワークセキュリティに関する 脆弱性評価結果と対応策を提言する

3つのPKIを活用した信頼できる企業網の作り方  
～オンラインサービス用アバターが  
なりすまし攻撃の踏み台にならないために～

Googleのメール送信者ガイドライン設定が  
日本のメールセキュリティに与えたインパクト



浅見 徹

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会  
ユニバーサルコミュニケーション分科会  
遠隔操作型ロボットによる安心安全な  
アバター競技会の実装WG 主査



近藤 大嗣 氏

大阪公立大学大学院情報学研究科  
基幹情報学専攻 准教授

### 参加申込方法

セミナーへの参加には、事前申し込みが必要です。  
9月13日(金)までに以下のURLからお申込み下さい。  
<https://forms.office.com/r/s7nkMML7YC?origin=IprLink>  
申込締切後にzoomの招待URLをメールにてお送りいたします。



# オープンラボセミナー 2024

～日本企業のネットワークセキュリティに関する脆弱性評価結果と対応策を提言する～

## プログラム

15:00	開会挨拶	吉川 健一 (当協議会ユニバーサルコミュニケーション分科会リーダー、BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 社長)
15:05	講演 1	浅見 徹
15:50	講演 2	近藤 大嗣 氏
16:35	閉会	

※講演時間には質疑応答の時間も含まれます。閉会后、アンケートにご協力ください。

## 講演 1



### 3つのPKIを活用した信頼できる企業網の作り方 ～オンラインサービス用アバターが なりすまし攻撃の踏み台にならないために～

講師：浅見 徹

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会  
ユニバーサルコミュニケーション分科会  
遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の  
実装 WG 主査  
特定非営利活動法人 けいはんなアバターチャレンジ  
理事長  
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長

## 概要

コロナ以後、アバターを使った接客サービスのオンライン化が進んでいる。昨年秋に、けいはんなアバターチャレンジ・プレ大会2023を開催した際、これからのインフォデミック時代にはアバターの操作者を同定することが非常に困難になると感じ、この観点で日本企業のセキュリティについて定量評価を行った。調査は、Mail、Webのアプリを用い、Fortune500の日本企業、官公庁、セキュリティベンダの安全度を定量的に評価し、業界単位での実装水準を比較した。この結果、TLS実装に問題がある企業が多いこと、また、なりすまし攻撃の踏み台になることを避けるためのDNSSECの導入は進んでいないことなど、企業網セキュリティの低さを実感した。企業網の管理のような非競争分野における企業間連携の大事さを訴えたい。

## プロフィール

1974年京都大学工学部電子工学科卒業、1976年同大学院修士課程修了後、国際電信電話株式会社(現KDDI)に入社。同研究所においてUNIX通信(JUNET国際ゲートウェイシステム(1982-1994))、ネットワーク障害診断、xDSLの研究開発(伊那xDSL利用実験(1997-1998))等に従事。博士(情報理工学)。2000年(株)KDDI研究所取締役副所長、2001年(株)KDDI研究所代表取締役所長。2005年(株)KDDI研究所代表取締役副会長。2006年東京大学大学院情報理工学系研究科教授(電子情報学専攻)、2017年株式会社国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長。現在に至る。東京大学名誉教授。平成9年度前島賞。平成30年度志田林三郎賞。電子情報通信学会フェロー。

## 講演 2



### Googleのメール送信者ガイドライン設定が 日本のメールセキュリティに与えたインパクト

講師：近藤 大嗣 氏

大阪公立大学大学院情報学研究科 基幹情報学専攻 准教授

## 概要

Googleは2023年10月3日、Gmailアドレスに対する迷惑メールを排除するため、新たなメール送信者ガイドラインを設定した。このガイドライン中には、SPF、DKIM、DMARCのようなメール送信者認証の有効化等に関する要件が含まれている。多くの一般メールユーザがGmailアドレスを利用していることを考慮すると、メール送信者は確実にそのようなユーザに対してメールを送信するために、このガイドラインへの対応を行う必要がある。この講演では、Googleのような巨大メール事業者が設定するメール送信者ガイドラインが日本のメールセキュリティに与える影響について調査した結果を報告する。

## プロフィール

2013年大阪大学工学部電子情報工学科卒業。2015年東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程修了。2018年ロレーヌ大学 École doctorale IAEM 修了。Doctorat en informatique。2019年大阪府立大学助教。2022年大阪公立大学助教。2024年大阪公立大学准教授。ネットワークセキュリティや次世代ネットワーク技術の研究に従事。電子情報通信学会、IEEE 各会員。